

たかお治久

後援会

会 報

No.28

■発行／2020年6月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

いつも大変お世話になっております。高砂市議会議員の鷹尾治久です。

新型コロナウイルスによる世界的な混乱は、私達一人ひとりにとって、経験したことのない出来事であり、皆様の日常生活にも様々な形で影響が生じていることと存じます。特に感染リスクを抱えながら、医療現場で日々働いておられる方々には、改めて心より感謝申し上げます。

国内においては「緊急事態宣言」の効果もあり、一次感染拡大は収束の方向に進んでいますが今後、二次、三次感染拡大のリスクに備えた行政施策や市民一人ひとりの行動が引き続き必要であると認識しております。

このような状況の中、皆様にお役に立てる行動を従来以上に心がけ、少しでもこの難局克服に繋げていきたいと考えています。

さて、社会全体が混乱の中でしたが、4月5日投開票による市長選挙が実施され、都倉達殊氏が初当選し、同月13日に第19代高砂市長として就任されました。

また私は本年9月には、お蔭様をもちまして市議会議員として10年を経る事になります。これを機に、より一層活動を充実させ、高砂市民一人ひとりの幸せ実現のために、自らの考えや今後の行動方針を見直ししましたので、本会報にて報告致します。

たかお治久の行動指針『声キャッチ即行動』

政治家の使命は「人の幸せの実現」にあると考えています。その実現のためには、“市民のご要望(相談)によく耳を傾けること”“ご要望には出来るだけタイムリーに行動すること”が重要だと考えています。全てのご要望が解決できる訳ではありませんが、自分の立場から全体を鑑み、行政と折衝するなど、私はこの10年間この事に拘って取り組んできました。今回改めてこの動きを**私の行動指針『声キャッチ即行動』**(事例↓)と表現した上で、引き続き拘って取り組んでいきます。

	ご要望 (相談)	私の対応と結果
就労者	自転車通勤者（加古川市から高砂市側へ）より相生橋の街灯の上から鳥の糞が落ちてくるので何とかして欲しい。	高砂市経由で道路管理者の県に要望し鳥よけシートを敷設頂いた事で対策がとれた。 
団 体	向島公園野球場ベンチの出入り口の天井が低過ぎ、再三頭を打つ事がある。改善して欲しい。	高砂市に要望し、当該箇所にラバーを施設することで対策がとれた。 
地 域	公園の長椅子が相当傷んでいる。万灯祭のエリアであり改善すべきと指摘を受けた。	高砂市に依頼し即改善された。 

皆様からご要望(相談)を受ける事でお役に立てる上、現場で起こっている事や行政施策をより深く知る事にも繋がっており、引き続き、多くのご要望(相談)を聞かせて頂きたいと思っております。上記ご要望以外の内容についても私のホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

1 たかお治久 10年目のリ・スタート 重点取り組み

議員として10年が経つ今「10年目のリ・スタート」と位置づけ“改めて自分は何をすべきか”（活動の振り返り・時代認識・人生観/価値観等）を視点に今後の活動について再整理し、重点取り組みとして掲げたのが下記2項目です。

①“働く”をサポート ②人の“つながり”促進

人が「物心共に豊かに生きていく」為には、仕事が軸になると考えます。仕事をする上での環境整備や働く人を支えるご家族が直面する様々な課題（子育て、介護、住環境等など）への支援を「“働く”をサポート」という言葉で表現しました。また、人生を幸せに生きるために必要なことは人と人との“絆”や“つながり”であると考えます。

① 何故、「“働く”をサポート」なのか？

現在、私は社会人生活33年目になります。仕事を通じ学んだ事は数知れず、多くの方に支えられて人の生活が成り立っている事を実感しています。経済的にも人生を支えてくれているのが仕事であり、そう考えると仕事は人生の軸となっている事に改めて気づかされます。

我々政治家の使命は「人の幸せの実現」にあります。私はその実現の為に人生の軸となる仕事がより円滑にできる環境整備や法（条例）の制度設計、また働く人と共に生きるご家族が人生のあらゆるプロセスで直面する課題に対し、解決に向けて少しでもお役に立ちたいと考えています。

② 何故、「人の“つながり”促進」なのか？

私は現在55歳ですが、これまでも多くの人と出逢い、刺激を受け、気づきを与えられ、幸せを感じてきました。また折しも、今般の新型コロナウイルス騒動では[STAY HOME]を強いられる生活の中、一時的にですが人との交流が制限され、これまで如何に人と交わる事で良い時間を過ごしていたかを改めて実感しました。

このような人生を通じ、気づいた事は、人は人との交流でつながりをつくり、その中に人生の喜び、彩り、幸せの種があるという事です。この気づきを私の価値観とし、人生100年時代を生きる私達は、自分の住む地域でのコミュニティの充実等も含め、出来るだけ人と人との交流を促進していく事こそが、これからの時代に必要な事と捉えています。

2 今後自らが仕掛ける具体的取り組み

今後、上記の視点を軸に、継続中の活動を含め、新たな取り組みを推進していきます。その中で、今回は次の3項目をご紹介します。

1. “自主的”公園掃除

この取り組みは、3年前から市内2か所の公園（高砂町のじぎく児童公園、荒井町ぼたん児童公園）で進めてきましたが、改めて取り組み内容、目的と効果等を説明致します。

取り組み内容

開催：各公園1回/月ずつ

日時：第1・3土曜日午前7時半～8時

各公園の近隣住民の方々が“自主的”に集い、ゴミ袋や掃除用具を持ち寄り公園の掃除を行う活動。

目的と効果

① 暮らす地域での人の交流

② 環境改善+ **市民の自己有用感※の獲得**

※自らの行動が社会の役にたっているという感覚。
この心が人生を豊かにしてくれます。

既に実施されている箇所も多数あるとは思いますが、このような取り組みをそれぞれの地域で順次広げて行きたいと考えています。



2. 地域で集うラジオ体操の推進

人生100年時代、より充実させる為のベースは健康だと考えます。それと共に、大切になるのが近隣の人たちとの良好な人間関係です。これらを獲得する為に地域で集ってのラジオ体操を推進していきたいと考えています。この取り組みは既に高砂市総合運動公園にて実施されており、最近は私も参加し地域住民の一人であることを実感しつつ、爽やかな気分を味わっています。

実は、このような活動は大阪城公園では約50年前から実践されており、現地に足を運び、その目的・歴史を学び、雰囲気を感じてきました。(下記写真参照)健康維持増進は、国家財政を圧迫する社会保障費削減にも貢献出来る事であり、是非進めていきたいと考えています。

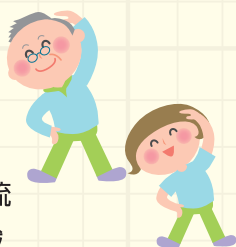
取り組み内容(イメージ)

毎朝自分の暮らす地域の近くの公園にラジオを持参し、顔を合わせた人と挨拶を交わし、集ったみんなでラジオ体操を行う。

目的と効果

- ① 健康増進
- ② 地域での人の交流
- ③ 国保医療費等の社会保障費の削減

近隣の方々が集い笑顔でラジオ体操をしている光景が高砂の朝の風物詩になる事を目指し、この取り組みを市内各所で広げていきたいと考えています。



50年続いている大阪城公園でのラジオ体操



3. 情報の発信と共有の促進

市民の皆様には議員活動や行政の動向を知って頂く事は非常に大切と考えています。その為下記3項目を継続し、総合的かつタイムリーに情報提供に努めていきたいと考えています。

取り組み内容

情報発信手段として下記の3項目に取り組み中

- ① たかお治久HPにより活動の全体像ご紹介
- ② ブログ(SNS)により日々の活動と有益情報の発信
- ③ 『後援会報』により総合的・定期的報告

目的と効果

- ① 活動紹介による政治への関心喚起
- ② 有益情報の提供による市民生活への貢献



みんなに知って頂きたい
情報満載の「たかさごナビ」
是非ご愛用を！

皆様に
お願い

1

たかお治久の活動報告ブログを是非ご覧ください。

インターネットにて「たかお治久」で検索頂くと出て来ますので是非ご一読ください。議員活動の一端と議会内容、有益情報等を日々掲載しています。

▶ <https://blog.goo.ne.jp/takao2233>

2

「たかさごナビ」を是非ご活用ください。

この「たかさごナビ」(上の写真)はインターネット上での高砂市の情報発信サイトであると共に高砂市内の危険箇所等を市民側から市に改善要望できるサイトでもあります。是非一度アクセスしてご活用してみてください。

▶ <http://www.city.takasago.lg.jp/index.cfm/19,0,218,html>

3 これからの高砂市へ 思いを馳せて「今何ができるのか？」

現在高砂市の状況は財政の視点から見ると、コロナ対応により緊急かつ膨大な支出を強いられる事になり、本来実施すべき政策ができなくなる可能性もあります。その結果、益々行政対応・施策への不満が増えるかも知れませんが、そのお声には出来る限り耳を傾け、より良い施策への反映に繋げねばならないと考えています。

その一方で、これだけの国難であり、全ての関係者、市民が一丸となってより良いまちづくりの為に知恵を出し、力を尽くし、行動していかなければならないと考えます。**“今自分達に何ができるのか？”**一人ひとりが様々な立場から社会に貢献できる事を実践して行く時ではないかと考えます。例えば、ほんの数回食事をテイクアウトに変える・感謝の言葉を発する・目の前の空き缶やゴミを拾う・自治会活動に協力する・健康増進に努力する等など様々な行動があると思います。以前にもこの会報に書きましたが「横断歩道で人が待っている場合、自動車運転者はその人に譲る」もその一例で、このような行動は社会を快適にすると共に高砂市を社会に誇れる町に変える事に繋がっていきます。そして、このような行動を実践する大人の背中を子ども達は純粋な目で学び、何かを感じるとも考えます。是非、皆様、これからの高砂市をより良い街にしていく為に共に頑張っていきましょう！

<鷹尾治久後援会役員>

会長：野夫井佳昭 副会長：北野光昭、松谷敏道、足立善美、中村健太 幹事：松森翔平 会計：林晃平 監査：畠中良平

日常お困りの市政相談は、お気軽にお電話ください。連絡所／TEL.079-445-2395 (カネカ労働組合高砂支部内)